

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Rituximab療法

【尋常性天疱瘡】

4週毎 1コース予定

尋常性天疱瘡

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1	day15
リツキサン(リツキシマブ)	1000 mg/body	↓	↓

【注意】 * 初回投与は必ず入院で実施すること

* 体温・脈拍・血圧・SpO2測定を速度アップ直前に行うこと

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1 * 初回投与は必ず入院で実施

① カロナール200 mg 2錠 ポララミン2 mg 1錠 内服

☆30分後より

② 生食500 mLにて血管確保

③ リツキサン 1000 mg + 生食 900 mL

◎輸液ポンプにて50 mL/時間で点滴静注

④ 50 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて100 mL/時間で点滴静注

⑤ 100 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて150 mL/時間で点滴静注

⑥ 150 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて200 mL/時間で点滴静注

⑦ 200 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて250 mL/時間で点滴静注

⑧ 250 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて300 mL/時間で点滴静注

Rituximab療法

- ⑨ 300 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて350 mL/時間で点滴静注
- ⑩ 350 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて400 mL/時間で点滴静注

day 15 * day1 において発現した有害事象がGrade 2以下であった場合

- ① カロナール200 mg 2錠 ポララミン2 mg 1錠 内服
☆30分後より
- ② 生食500 mLにて血管確保
- ③ リツキシサン 1000 mg + 生食 900 mL
◎輸液ポンプにて100 mL/時間で点滴静注
- ④ 100 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて200 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて300 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で30分点滴静注し、患者の状態に変化がなければ
◎輸液ポンプにて400 mL/時間で点滴静注

	1コース	
	day1	day15
月日	/	/
リツキシマブ 開始時間	↓	↓
確認		